Panasonic

蛍光灯ダウンライト（軒下用）

取扱説明書
保管用

品番　NFMG41774

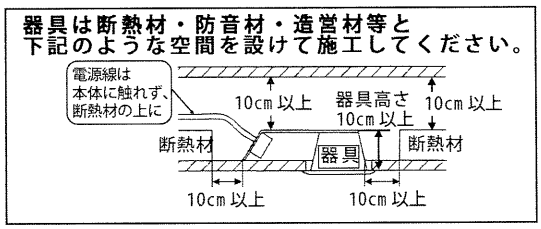
・器具の取りつけには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

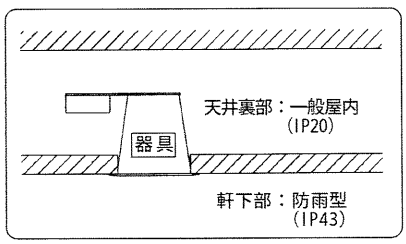
⚠危険

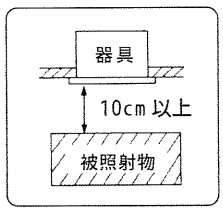
●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

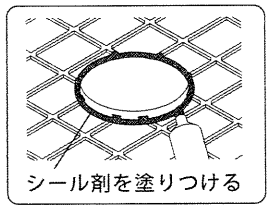


⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
火災・感電・落下の原因となります。
●器具の取りつけ部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。
火災の原因となります。
●この器具は軒下用です。雨のかからない屋根部分の軒下用以外で使用しない。
また、浴室などの湿気の多い場所で使用しない。
火災・感電の原因となります。
●器具の部位により防水性能が異なります。
天井裏部は防水性能がありません（一般屋内）ので、天井裏部に水のかかる場所へは設置しない。火災・感電の原因となります。
●天井埋込専用です。壁取りつけや天井直づけ及び傾斜天井へは取りつけない。
火災・落下の原因となります。
●天井材の凹凸が大きい場合は、天井材と本体とのすき間を防水シールなどで埋める。
防水が不完全な場合、火災・感電および防虫性能低下の原因となります。
●必ず表示された定格電圧（１００～２４２Ｖ）±６%の電源電圧で使用する。
火災・感電の原因となります。。
●接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行う。
設置が不完全な場合、感電の原因となります。
●器具と被照射物は１０ｃｍ以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。







⚠注意

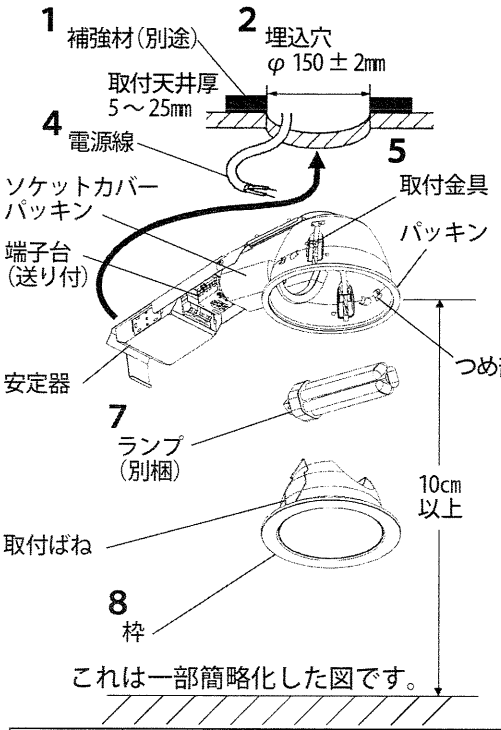
●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。
火災・感電・落下・サビの原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃以外では使用しない。火災またはランプ短寿命の原因となります。
●ライトコントロール、明暗スイッチなどと併用して使用しない。火災の原因となります。

施工上のご注意

●取りつけ面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつける。
サビや変色の原因となります。
●捕虫器と併用する場合は、５０ｃｍ以上離して設置ください。
パネル劣化の原因となります。
●蛍光灯は周囲の温度や風により明るさが変化します。低温時には、極端に暗くなったり、点灯直後のちらつき発生の原因となることがあります。

各部のなまえと取りつけ方

ロックウール等の柔らかい天井及び珪酸カルシウム板、金属板等の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（木片等）を入れる。
補強材のない場合、光モレ、枠と天井面の隙間の原因となります。



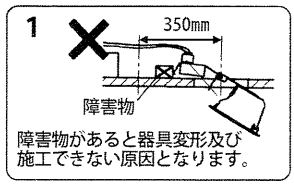
これは一部簡略化した図です。

⚠警告	照射物・照射面との距離は１０ｃｍ以上離す。 被照射物の火災・変色の原因となります。

⚠警告	ソケットカバーを持って作業したり、引っ張ったりしない。 ソケットカバーがはずれることがあります。 ソケットカバーがはずれたまま使用すると火災や低誘虫機能の低下の原因となります。

1. 取りつけ前の確認をする

・器具質量（約1.2ｋｇ）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
・天井裏には埋込穴の中心から器具長さ350mmの間に障害物がないことを確認する。
不備がありますと器具落下の原因となります。



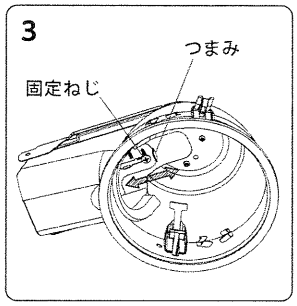
障害物があると器具変形及び施工できない原因となります。

2. 天井にφ150±2mmの埋込穴をあける

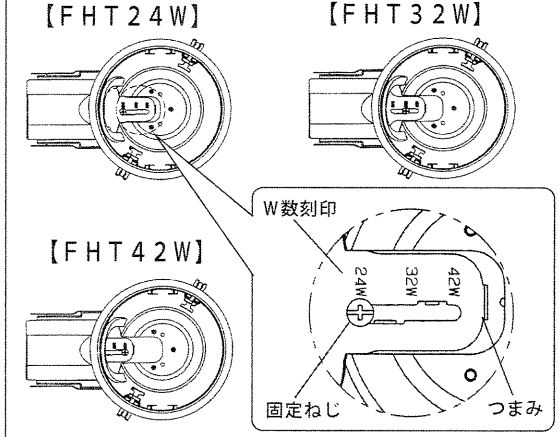
不備がありますと器具落下・天井材と枠の隙間の原因となります。
※精度良く埋込穴をあけるのにダウンライトカッターをおすすめします。

3. ソケット台の位置を調整する

・使用するランプに合せてソケット台を移動させてください。
注）調整は３段階です。（出荷時は３２Ｗの位置です。）
①固定ねじをゆるめる。
②ソケット台のつまみを持ち、使用するランプW数の刻印まで動かす。
③つまみを持ちながら固定ねじを締付ける。
固定ねじを確実に締付けてください。
不備がありますとランプの傾き、破損の原因となります。



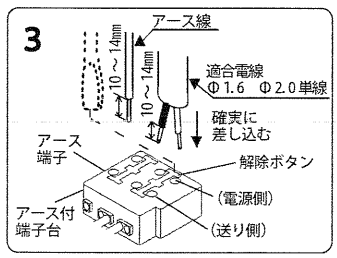
各ランプ別ソケット台位置



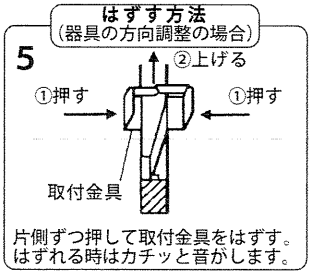
＊使用するランプに合わせてW数刻印を固定ねじの位置に合わせてください。

4. 電源線とアース線を端子台に接続する

・アース端子を用いて、Ｄ種（第３種）接地工事を行う。
・端子台の送り容量は２０Ａです。
・電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。



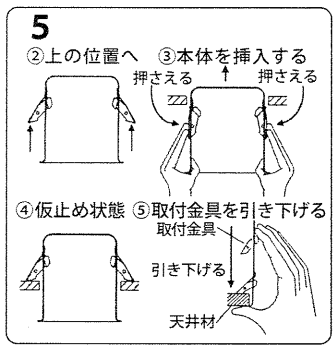
はずす方法
（器具の方向調整の場合）



片側ずつ押して取付金具をはずす。
はずれる時はカチッと音がします。

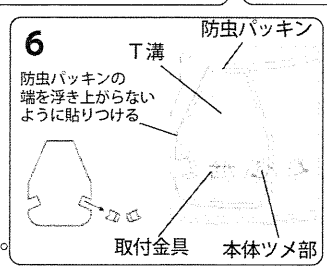
5. 本体を取りつける

①パッキンがあることを確認する。
②取付金具２ヶ所を本体上部へとどめておく。
③取付金具を内側へ押さえながら、安定器側から天井に挿入する。
④仮止め状態とする。
⑤取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。
⑥ソケットカバーパッキンが正規取りつけ状態であることを確認する。
不備がありますと
落下や低誘虫機能の低下の原因となります。



6. 本体Ｔ溝部(２ヶ所)に防虫パッキン(付属)を貼りつける

・防虫パッキンの切欠きを本体ツメ部にあて、貼り付ける。
・Ｔ溝と取付金具を隙間なく覆い、防虫パッキンの端が浮き上がらないように貼りつける。
不備がありますと防虫性低下の原因となります。

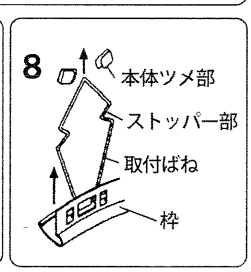


7. ランプ(別梱)を確実に取りつける

①ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差し込む。
②差し込んだ状態でランプを少し回転させ取りつける。(回転角度約15°)
③取りはずす場合には、ソケットに取りつけた状態のままランプを取りつけと逆方向に回転させてください。
回転が不十分な場合、落下の原因となります。
ガラス管を強く握らないでください。割れる恐れがあります。

8. 枠を取りつける

・つめ部に取付ばねを合わせ、枠をまっすぐ静かに最後まで押し上げる。
不備がありますと落下・防水性低下の原因となります。



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、 正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。

●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。

●器具と被照射物の距離は、１０㎝以上離す。被照射物の火災、変色の原因となります。

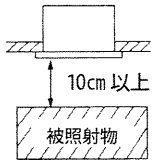
●異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。

●ランプ交換の際には、器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災やランプ破損の原因となります。

●点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらない。
やけどの原因となります。

●ランプを確実に取りつける。回転が不十分な場合は落下の原因となります。

●ガラス管を強く握ったり、過度の力で回さないでください。
ランプ破損によるケガの原因となります。



⚠注意

●器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。
火災・感電の原因となります。

●照明器具には寿命があります。設置して１０※年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による。
点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

●ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。

●同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。

●シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。

●低誘虫の効果は虫の種類（すう光性の有無）、周囲の環境（付近に明るい光源がない等）によって異なります。

保証について

●保証について
この商品の保証期間は１年間です。但し、蛍光灯器具・ＨＩＤ器具の安定器･ＬＥＤ電源は３年間です。
ランプ･グロー点灯管・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

●保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

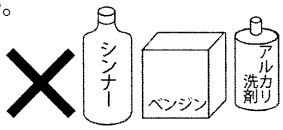
●補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

取説No.NFMG41774-TB1

お手入れ・ランプ交換

⚠注意　必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。

＜器具の清掃について＞　・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

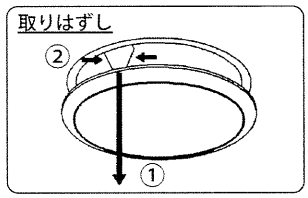


＜ランプ交換について＞　・器具表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。

推奨ランプ
24形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT24
32形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT32
42形コンパクト形蛍光灯（パナソニック製・OSRAM製）FHT42

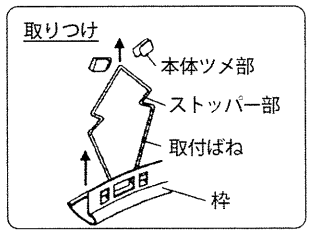
1．枠をはずす

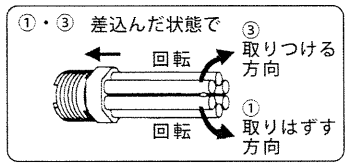
①枠を静かに引き下げる。
②枠取付バネを押し縮め、さらに引き下げる。

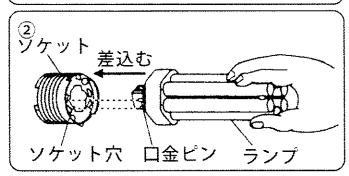


2．ランプを交換する

①ソケットに取りついた状態のままランプを少し回転させ
取りはずす。（回転角度約１５°）
②ランプの口金ピンをソケット穴に合わせ、奥まで確実に差込む。
③取りつける場合には、差込んだ状態で
取りはずしと逆方向に回転させてください。
すべりやすい手袋はご使用にならないでください。
ゴム手袋のご使用をおすすめします。







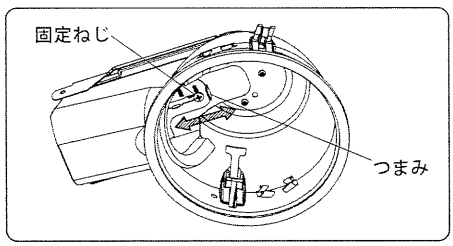
3．枠を取りつける

・取付ばねを本体ツメ部に合わせ、
枠をまっすぐ静かに最後まで押上げる。
不備がありますと落下・防水性低下の原因となります。

＜ソケット台の位置の調整について＞
・使用するランプに合わせてソケット台を移動させてください。
注）調整は３段階です。
・ランプの取りつけ・取はずしは＜ランプ交換について＞を
参照してください。
①固定ねじをゆるめる。
②ソケット台のつまみを持ち、使用するランプW数の刻印まで動かす。
③つまみを持ちながら固定ねじを締付ける。
固定ねじを確実に締付けてください。
不備がありますとランプの傾き、破損の原因となります。

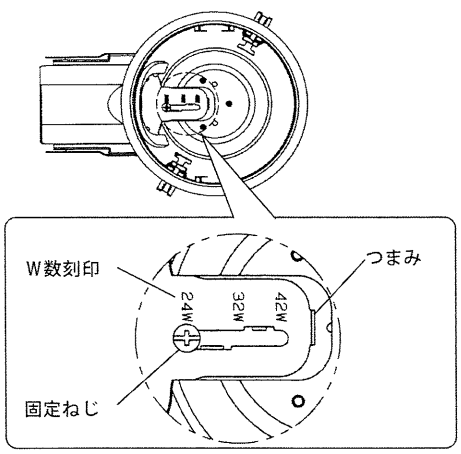
⚠注意

・ランプを取りつけたままソケット台の調整を
しないでください。
ランプ破損の原因となります。

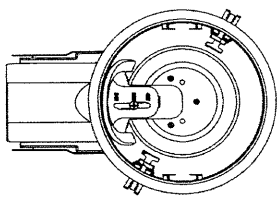


各ランプ別ソケット台位置

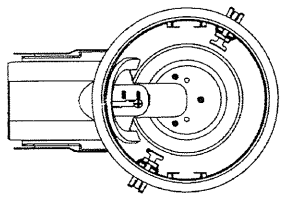
【FHT24W】



【FHT32W】



【FHT42W】



＊使用するランプに合わせてW数刻印を固定ねじの
位置に合わせてください。

パナソニック電工株式会社 ナショップ・調光システム事業部　(〒571-8686)大阪府門真市門真1048
0T0609-1060